

第5次船橋市地域福祉計画(案)1～3章に関する意見

No.	章番号	第3回 ページ	ご意見	回答	委員名
1	全体		子供のことは全部ひらがなで「こども」表記にするのか。	原則「子供」、固有名詞などは都度対応する予定です。	大野委員
2	全体		全般的に横文字が多いので、国立国語研究所が外来語の読替え例を示しているので参考にして、カッコ書きで表示してください。	国立国語研究所等の情報を参考にしながら、注釈なども活用し、読みやすい文章にしていきたいと思います。	大崎委員
3	全体		色々な分野で人材不足とありますが、現役世代は、福祉活動や地域活動に従事することが困難です。地域活動は町会活動やスクールガードはじめお年寄りが担っています。ですから、健康な老人を支える施策を考えてください。 船橋市は、老人バスの廃止、敬老会の補助を75歳から80歳にし、憩の家の契約停止をするなど健康な老人を支えることと反対な施策を行っています。 地域活動や福祉活動を支える健康な老人をつくる施策に力を入れて下さい。	地域活動の担い手の多くが高齢者であることは認識しており、少しでも長くご活躍いただきたいと思っています。 いただいたご意見については、高齢者福祉施策を所管する部署にお伝えするとともに、可能な限り地域福祉計画にも反映していきたいと考えております。	大崎委員
4	全体		【地域のつながりづくり・居場所づくり】 人とのつながりの希薄化や孤独・孤立、自治会の担い手不足、交流の場不足(アンケートで約4割)への対応として、空き店舗・学校の空き教室・既存施設の空きスペース等を活用した「多世代交流の居場所」の設置について、他自治体の先行事例などを参考にしながら、検討してみてもどうか など	柱1において、地域福祉に関する居場所や世代間交流に関する事業などを掲載しているところですが、いただいたご意見については、関係所属と共有し、検討していきたいと考えております。	萩原委員
5	全体		全体的にとてもわかりやすく、良くまとめられていて素晴らしいです。 今回、こども家庭センター、児童相談所が開設されますので、もっとアピールして良いのかと思いました。	ありがとうございます。児童相談所、こども家庭センターとも相談しつつ、可能な限り計画内でアピールしていきたいと思います。	府野委員
6	全体		4次計画を踏襲しているのはわかるが、5次計画の目玉、特徴はなにか。	包括的な支援体制の整備を目的に、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業である重層的支援体制整備事業について、5次計画で初めて掲載する予定です。	早川委員
7	全体		「4 地域福祉を取り巻く課題等」をまとめているが、この前提として、「第4次福祉計画で設定した「成果指標」の効果測定の実施」が、計画の着実な推進のために重要であると考えますので、その結果を次回委員会の時に示して頂きたい。	4次計画の成果指標の効果測定と新しい成果指標の設定について、今回会議で示します。	山口委員
8	1	5	「(2)地域福祉に関する法律等の近年の動向」の表に「令和8年度」を追加した方がよいと思う。	反映が必要な情報について掲載していきます。	山口委員
9	1	7	図中に、「保健と福祉の総合相談窓口 さーくる」を入れる。	生活困窮のところに「さーくる」を追加します。	山口委員
10	1	7	図中の児童相談所の位置は、子供分野の一番上になるのではないか。	児童相談所、こども家庭センター、地域子育て支援拠点の順番に変更します。	加瀬委員
11	1	9	「こども計画」に具体的な計画を記載する。「自殺対策計画」を「ふなばし健やかプラン21」から「その他個別計画」に入れる。	「こども計画」はこども基本法において、こどもに関する既存の各法令に基づく計画を一体のものとして作成したものと定義されているため、具体的な計画の記載は不要と考えております。 「ふなばし健やかプラン21」は健康増進計画・自殺対策計画・食育推進計画を一体的に策定しているため、切り離すことは難しいと考えております。	山口委員
12	1	12	「計画の策定体制」で、第4次計画では、「市民会議」を実施しているようですが、本計画では無い。船橋は、多様な住民の方がおられるので、各地区でアンケート調査結果を基に「市民会議」を実施し、地域毎の意見の吸い上げが必要ではないかと思います。「パブリック・コメント」では、「自分事」の意見がでないような気がします。	パブリック・コメントの時期に合わせて、地域福祉計画の紹介動画を作成しホームページやSNSに公開するなど、時間や場所を限定することなく本計画をより多くの方に「自分事」として捉えていただけるような工夫をしていきたいと考えております。	山口委員
13	2	30～33	「4 地域福祉を取り巻く課題等」で4次計画の基本方針が急に出てくる。初見の人は3章まで見ないと伝わらないのではないか。	2章の冒頭に追記します。	浦委員
14	2	2～	第4章事業数、第5章事業数、第6章事業数とあるが、第4次計画のように、「内容」を入れた方が分かり易い。	4次計画のように柱の内容を追記します。	山口委員
15	2	6	成果指標の効果測定の結果が、第5次計画の第4章から第6章に反映されるものと考えます。その場合には、当然ですがP6に記載のある「船橋市地域福祉計画推進委員会からの意見」を反映した内容であることが必要だと思います。	アンケート結果を受け、成果指標の効果測定と指標の見直しを行うとともに、アンケート結果から抽出された課題や住民のニーズを整理し、「4地域福祉を取り巻く課題等」にまとめました。具体的な内容は、第4章から第6章に至る全体構成に反映させております。 また、いただいた「船橋市地域福祉計画推進委員会からの意見」につきましては、各項目ごとに検討を重ね、計画本文中に適切に組み込む作業を進めております。	山口委員
16	2	8	子供関係のデータをもう少し掲載してもよいのではないか。	就学前児童数の推移などを追加します。	浦委員
17	2	12	(6)生活保護の状況、(7)町会・自治会の状況 において、「令和6年」を最新版のデータを入れて欲しい。	各データを最新の情報に修正します。	山口委員
18	3	4	3 福祉の共通事項 (3)SDGsを踏まえた取組の推進について 内容自体は問題ないと思うところですが、SDGsが突然出てきている感じがします。また昨今の社会情勢を考えると、SDGsという言葉に対するマイナスイメージもあることから、「持続可能な社会」を目指すという観点での項目建てのほうが良いと考えます。例えばSDGsよりも、古いですが「我が事丸ごと」「一億総活躍プラン」のほうが良いと思いますし、「持続可能な社会保障制度」などのような形のほうがおさまりが良いと思います。	持続可能な社会という観点は、地域福祉計画とSDGsの取組とで共通しているので、「持続可能な社会」を目指すという項目建てにし、つながりを持たせられるような言い回しに修正します。	大野委員
19	3	8	「(2)進捗管理と評価の方法」において、共助項目について、船橋市社会福祉協議会からの「船橋市地域福祉活動計画」の進捗状況を、市民に対しホームページ等で公表することを検討して欲しい。	内容について、船橋市社会福祉協議会と協議してまいります。	山口委員